



機械器具 29 電気手術器
管理医療機器 バイポーラ電極 70655000
ソニクエンス滅菌済バイポーラ・ワンス
(バイポーラ・ケーブル)

再使用禁止

【警告】
＜使用方法＞

- 酸素や亜酸化窒素などの可燃性ガスの濃度が高くなっている所では、一時的にこれらの濃度を低下させてから使用すること。[酸素及び亜酸化窒素(N2O)は火勢を強め、激しい燃焼を引き起こすため。]
- 可燃性の液体や物質(アルコール性の皮膚消毒剤、チンキ類、液体包帯、骨セメント及び乾燥したガーゼ)などが存在する所では、十分に蒸発させるなどこれらの物質を除去する措置を講じてから使用すること。特に体の下や臍のような人体の陥凹部や、体の下などに可燃性溶液が溜まらないように注意すること。[電気手術器は、正常な使用であってもアクティブ電極の先端から火花が発生し、着火源となって患者及び手術スタッフに熱傷など重大な健康被害を与える可能性があるため。]
- 可燃性麻酔剤や可燃性ガスを除去すること。また、体内で発生する可燃性ガスも含めて気化したガス等が充満しないように排除すること。[アクティブ電極からの火花により爆発・引火を引き起こす可能性があるため。]
- 一時的に使用しないアクティブ電極は患者から離し、専用のホルスター等に収納するか、絶縁された器具台に置くこと。特に使用直後のアクティブ電極は患者体表面や覆布の上には直接置かないこと。[使用直後のアクティブ電極先端は、高周波電流により発熱している。乾燥しているガーゼや覆い布などの発火や、患者や手術スタッフの熱傷の原因となるため。]

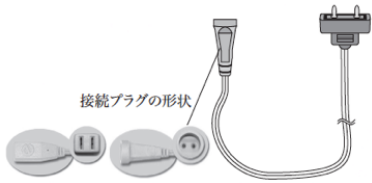
【禁忌・禁止】
＜使用方法＞再使用禁止。

- 本品を電気手術器のモノポーラ側出力で使用しないこと。[予期せぬ高出力で、患者及び手術スタッフに重大な影響と熱傷を起こす可能性があるため。]
- 本品を、患者に埋め込まれている金属(インプラント金属・金属入れ歯)等に接触させないこと。
- 本品の絶縁コーティング部を術野以外の周辺部(皮膚・口唇・歯等)に押し付けて使用しないこと。[絶縁部が傷・剥れ等によって劣化した場合、接触部で分流による熱傷の可能性がある]
- 使用するバイポーラ電極の大、小及び術部組織に対して、適応した出力設定で使用する。過度の高出力で使用禁止。[術部組織が炭化、焼損する。]
- バイポーラ接続コードとしてフライングリード形コードを使用しないこと。(組み合わせて使用する医療機器の項及び主要文献参照)[モノポーラ出力端子に誤接続した場合、モノポーラの高出力が出力される恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

- 構成
本品は、以下の製品から構成されるが、使用に際しては【使用方法】に記載した＜使用可能な電気手術器＞と組み合わせて使用する。なおバイポーラ・ケーブルは単品で販売することがある。
バイポーラ・ケーブル JX・バイポーラ・ケーブル FP・バイポーラ・ケーブル EU・ユニバーサル・バイポーラ・ケーブル UC
バイポーラ・ケーブル PC・バイポーラシザーズ・ケーブル SCC

- 形状
図に示すとおり（代表例）



ケーブルの全長：3m ±10%

- 原材料：ABS/TPE
- 原理
本品を介してバイポーラ電極類を電気手術器の本体に接続し、電気手術器の本体からの高周波電流を導電する構造である。
- 最大許容高周波電圧：4kVp
- 製品詳細
本製品は単回使用品である。
滅菌方法の種類：エチレンオキシサイドガス滅菌

【使用目的又は効果】

高周波電流を用いた生体組織の切開又は凝固を行うために外科的手術に使用する。

【使用方法等】

- 使用前の準備
 - 使用前に包装、製品、使用期限に問題が無いことを確認する。
 - 本品を電気手術器本体に接続する。
接続する際、本品を電気手術器本体の接続口に確実に挿入し固定する。
 - 使用前に、通電に問題が無いことを確認する。
 - 出力設定を電気手術器本体で行う。
 - 出力するにはフットスイッチを使って通電を行う。
 - 使用後は電気手術器本体から外し、廃棄する。
- 使用中の操作
電気手術器本体に接続されたフットスイッチの凝固ペダルまたはバイポーラターボペダルにて出力する。
- 本品の使用上の注意
 - 使用する前に必ず以下の内容を点検すること。
 - 形状にゆがみや破損等がないこと。
 - 絶縁被覆部にひび、剥がれ、摩耗等がないこと。
 - その他、断線や絶縁不良等の可能性がないこと。
 - 症例に応じて適切な電極を選択すること。

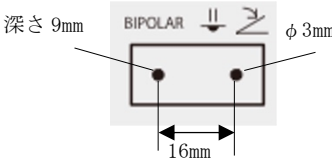
＜使用可能な電気手術器＞

併用する電気手術器本体のバイポーラ出力端子は、本品のプラグの差し込みが可能なものでなければならない。

一般的名称（JMNコード）	販売名	認証番号	製造販売業者
一般的電気手術器（70647000）	ソニクエンス高周波装置	307AIBZX00016000	株式会社ESE Japan(自社)

＜使用可能な電気手術器のバイポーラ出力端子＞

電気手術器のバイポーラ出力端子は以下のとおり。



取扱説明書を必ずご参照ください

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- 1) 熱傷の危険性を減少させるため以下の点に注意すること。
 - 通常の出力設定であるにもかかわらず、望ましい手術効果が得られない場合は、電気手術器本体の出力を上げる前に、電極部の炭化物付着及びケーブルの接触不良が考えられるため、再確認を行い、異常が無いことを確認してから使用すること。
 - アクティブ電極のコードは患者の身体に直接触れないよう配置すること。[誘導による高周波分流が発生する恐れがあるため。]
- 2) 神経や筋刺激を避けるため、金属性鉗子を経由した凝固の場合にはアクティブ電極を鉗子に接触させてから出力すること。
[電気手術器の高周波電流では、神経や筋の刺激は起こさないが、切開や凝固時に発生する放電（スパーク）により高周波電流の一部が整流され、低周波成分を生じて神経や筋を刺激し痙攣や筋収縮を起こすため。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 針状の生体モニタ電極の使用は可能な限り避けること。[モニタ電極面積が小さい場合、高周波分流による熱傷が発生する恐れがあるため。]
- 2) 併用する電気手術器本体の出力モードの選択、及び出力設定にあたっては、本製品の定格電圧を超えない高周波電圧とすること。出力モードごとの最大高周波電圧は電気手術器本体の添付文書又は取扱説明書などを参照すること。

＜相互作用(他の医薬品・医療機器との併用に関する事)＞

1. 併用注意(併用に注意すること)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
植込み型心臓ペースメーカ ※1 自動植込み型除細動器※1	機能停止	アクティブ電極コードを流れる高周波電流により高周波干渉が発生する可能性がある。
	固定レート化	
	不整レート発生	
生体モニタ装置	心室細動の発生	アクティブ電極コードを流れる高周波電流により正常なモニタができない恐れがあるため。
	モニタ電極は本製品で使用する電極類からできるだけ離し、センサーケーブルなどはアクティブ電極コードから可能な限り離して設置すること。又高周波電流保護機能付きの装置を使用すること。	

※1 これらの機器を植込んだ患者に電気手術器を使用する際は、該当する機器の添付文書等を参照すること。

＜不具合・有害事象＞

- 1) 重大な不具合
 - 可燃性物質・可燃性ガスへの引火・爆発
 - 意図しない出力
- 2) その他の不具合
 - 電極・アクセサリ等がハンドピースや接続ケーブルに適切に装着されていない場合に出力不備の可能性
 - 患者の身体が他の医療機器(診療ベットや心電図モニターの電極など)の金属部分が接触している場合に熱傷の可能性
- 3) 重大な有害事象
 - 熱傷
 - 痙攣や筋収縮
 - 体内生成ガスの爆発による臓器損傷 など

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 保管方法
周囲温度の範囲：-20℃～60℃
相対湿度の範囲：10%～90%（結露のないこと）
- 2) 有効期間
3年[自己認証(当社データ)による]

- 3) 使用期間

本品は、単回使用品であり、1回の使用で期限となる。尚、再使用はできない。
製造業者が指定した、製品包装に表示している期限を本品の使用期限とする。

【主要文献及び文献請求先】

文献請求先 株式会社 ESE Japan TEL：072-845-5686

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

株式会社 ESE Japan TEL：072-845-5686

＜外国製造業者＞

製造業者：Sonique, LLC(ソニクエンス(米国))

取扱説明書を必ずご参照ください